

空のとびかたプロジェクト コンセプト

平成27年12月28日

プロジェクト代表兼監督 来未炳吾

本プロジェクトは、2018年に障害者雇用法が改正されることに先駆けて発足する、映画制作プロジェクトです。

障害者雇用法が改正されることで、雇用義務対象となる障害者に「精神障害者」が加わります。本プロジェクトはその中でも、ここ数年で認知度が急速に広まった「発達障害者」にスポットを当てて活動して参ります。

当事者や支援者の活動、障害関連職に携わる方々など、様々な人達の努めにより、発達障害の認知度は勢いをつけて広まりました。大手企業の検索エンジンページの広告枠で、「ADHD」などの発達障害用語を始めて目にした時は、「ついにここまで来たか！」と嬉しくも思いました。

「アスペ」などというスラングを筆頭に、いくつかの偏見も広まっていますが、発達障害という名称自体が浸透していなかった無認知時代を振り返れば、今という時代が微笑ましく感じられる時もあります。

しかし未だ、安心圏を遠くに感じています。今でも「障害」という単語が言葉の中に出てきただけで、大多数の人は不安を感じたり、緊張したりしてしまうのではないのでしょうか。

ネット上などでも発達障害について調べますと、障害についての理解を求める言葉をよく見聞きするかと思います。そういう声はこれからも必要だと思います。しかし、そればかりでは、これ以上の段階に進むのは難しいと思いました。

本プロジェクトは、理解だけではなく『慣れること』が必要と考え、その理念の下に活動して参ります。

ご理解と応援のほど、宜しく願い申し上げます。